



埼玉支部報 第6号

目次		平成24年度総会開催、行事計画、役員体制	6
新支部長のご挨拶 (大久保春美)	1	50山ラリー実施状況	7
障がい者と春の山を楽しむ (大久保春美)	2	埼玉支部ホームページご紹介	8
3支部雲取山合同登山 (野口勝志)	3	事務局からのお知らせ、大山会員エベレスト登頂	9
栃木支部合同 高山・袈裟丸山 (吉田寛治)	4	委員会/同好会状況	10
第6回安全登山講演会報告 (安全登山委員会)	5	会員/会友異動状況	10

新支部長のご挨拶 支部長 大久保 春美

このたび、石橋正美支部長の後任を拝することになりました大久保春美です。

日本山岳会は平成24年4月に公益社団法人に移行し、各支部は本部と一体的な組織運営することになりましたが、この重要な転換期に支部長の職を仰せつかり、その荷の重さを痛切に感じているところで

す。早いもので、当支部は設立後3年目に入りました。支部の設立そして設立後の運営が円滑に運ぶことができたのは、石橋正美前支部長のご尽力と支部会員皆様の参加度の高さによるものと深く感謝申し上げます。

さて、本支部は会員みなが支部の構成員として、会員自らが会の運営に参画できるような組織体制を組みスタートしました。山行・集会委員会による埼玉50山や四季の山行、安全登山委員会による研修会や講演会の開催、社会貢献委員会による障害者登山や地域への情報提供、自然保護委員会の調査や森づくり活動、広報委員会による支部報やホームページによる情報提供など、活動の質や幅が拡大しています。さらに今年度は、支部設立3周年を記念した東チベット踏査隊の派遣準備が進んでおり、ますます充実した支部の活動が図られているところです。

これからは、事業の質を高めるとともに、より多くの会員の参加、さらに公益性のある事業の展開も必要になってきています。また、高齢の会員が多いことをふまえて、安全登山のための仕組みづくりや山の先輩方の貴重な体験や豊富な知識を多くの会員に伝えていただくことも忘れてはいけないと思っています。また、時代の変化に対応した新しい知識や技術の習得も必要になってきます。また、若手の育成のためには、若手の視点に立って事業を考えていくことも必要です。

今、私たちは会員からはもちろん周囲からも信頼され、評価される新しい日本山岳会を作り上げるとともに、会員自らの登山活動を豊かにするための支部として、皆が参加意識をもちながら焦らず身の丈の支部活動が推進できればと考えています。

微力ながら支部長としての任を精一杯努めていく所存ですが、埼玉支部の各会員の皆様のご理解と積極的なご参加をいただきながら、充実した支部活動を推進できればと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。(写真は平成24年度総会後の懇親会での大久保支部長と松本副支部長)



障がい者と春の山を楽しむ(第2回ふれあい登山報告) 大久保春美



晴天に恵まれた鐘撞堂山への登山

埼玉県障害者スポーツ協会との共催事業として、4月8日(日)寄居町にある鐘撞堂山に登った。当日は快晴。9時20分寄居町役場集合。最年少5歳から最高齢76歳まで総勢65名が集う。障害者11名(知的障害、高次脳機能障害)、家族等13名、日本山岳会関係者29名、障害者スポーツ指導員2名、スポーツ協会1名。開始式の後、10時出発。あらかじめ障害の特徴や体力などの申告の内容により班分けを行い7つの班を編成した。健脚コース(桜沢ルート12Km)2班、一般コース(大正池ルート10Km)4班、本部班1班、計7班に分かれて登山する。一般コースは、途中

の竹工房のご主人の協力によりお茶用のお湯と参加者一人ひとりに竹を切って「竹カップ」が用意されており、しばしお茶の時間を楽しんだあと山頂に向かう。健脚コースはリーダーから歩き方やストックの使い方などの指導を受けながら、見晴らしのよい尾根歩きを楽しみ鐘撞堂山で合流。例年より寒さが続いたため、山頂の桜の開花には1週間ほど早い登山となった。鐘撞堂山から羅漢山を經由し、春の里山の景色を楽しみながら、また体調不良や遅れる者もなく全員がそろって歩くことができた。解散式では、障がい者それぞれから感想が述べられ、来年のふれあい登山での再会を約束して15時に解散した。

さて、去年は初めてのふれあい登山ということで、山岳会会員のなかには「障がい者とのように接したらよいか」という不安の声もあったが、2回目となるとそのような不安の声もなく、障がい者や家族との会話が弾んでいる様子が見られ、それぞれがふれあうことが理解につながり、山の楽しさを共有できることを知っていただいたようだ。障がい者の満足した笑顔は、私達にも大きな満足を与えてくれたと感じた一日であった。

本事業は、社会貢献委員会の委員による山の選定や下見などを重ねたが、また来年も楽しい山行ができるよう早めの準備を進めたいと思っている。



出発地の寄居町役場前での記念撮影

東京多摩支部、山梨支部、埼玉支部の雲取山合同登山報告

野口勝志

昨年、企画を立ち上げた三支部合同登山は、1回目は台風、2回目は日本海低気圧による強風のため、延び延びになっていた。今回4月14日・15日に三度目の正直とやらずで実現のはこびとなった。しかし初日は生憎の雨模様の中三々五々西武秩父駅に集合。自家用車とジャンボタクシーに分乗し三峰神社へ向かう。なお、東京多摩支部はバスをチャーターし鴨沢(小袖集落)コースから、山梨支部は車に分乗し同コースから、それぞれ雲取山頂経由で、今夜の合流場所である雲取山荘をめざした。

総勢17名。10時25分、雨装備での出発となった。雨足もそれ程ではなく風もないので、こんな中、登るのも悪くはない。速くも遅くもないペースで身体がほぐれてきた頃、霧藻ヶ峰休憩所に着く。長瀨町在住の会員の宮崎さんが休憩所を開けておいてくださり、湯茶の接待。熱いお茶で昼食をとる。小休止のあと少し下るとお清平でここから前白岩への急登が始まる。パーティは女性中心の快速組とノンビリ組に分かれる。雨はいつの間にかミズレ模様に変わる。白岩山に着く頃には本格的な雪に変わり、積雪も5センチくらいになる。芋の木ドッケ(芋の木とはこのあたりでコシアブラ、ドッケは尖った山の意という)のレリーフから登山道は右側のトラバースルートとなる。雪と落葉の下に隠れて凍結した残雪があり神経を使う。途中からアイゼンを着用。しかし湿雪のためダンゴになりすこぶる歩きづらい。雲取ヒュッテを過ぎてようやく雲取山荘に着く。17時40分、7時間強のアルバイトであった。快速組は30分前に到着したとの事、雲取山荘の大部屋ではすでに東京多摩支部、山梨支部の面々がドリンクモードに入っていた。

我々も大部屋に集合し、山荘主人新井さん差し入れの大鍋のおでんとビール、山梨支部のワイン、東京多摩支部の日本酒をはじめとする酒肴の数々、あちこちで乾杯が始まる。東京多摩支部18名、山梨支部8名、埼玉支部17名、総勢43名の大宴会。三支部代表の挨拶が終わると会員の自己紹介が延々と続く。日山協会長の神崎会員をはじめ多士済々、どこぞの校歌に「集まり散じて人は変われど……」とあるが、山と酒を媒介としてコミュニケーションを図る。(いいですねえ。)こんな企画がどんどん広まればいいと思う。山荘側から消灯時間の声がかかるまで宴は続く。心地よい疲れと充実感で眠りにつく。

翌朝は予報の通り雲一つないピーカン、この季節には珍しい白銀の世界、アイゼンが気持ちよく利くなか山頂へ。360度の眺望の中、各支部毎や3支部全員を入れての記念撮影。名残を惜しみつつ、東京多摩支部と山梨支部の

下りにかかる。絶え間なく続く山荘への物資荷揚げヘリの音を聞きながら単調な登山道を黙々と下る。14時20分三峰神社着。大滝温泉で汗を流し最後の乾杯をして自家用車に分乗、帰路につく。

花見と雪見も満喫の充実した二日間であった。



(*)本部発行「山」掲載記事の写真を入れ替えて再掲載したものです。



皆さんに再会を期してお別れをする。山荘で軽い腹ごしらえをして8時30分

四季の山 高山・袈裟丸山(栃木支部合同) 2012.6.9~10 吉田 寛治

第一日(6月9日 土曜日)

朝7時30分 JR 鴻巣駅に大久保さん、正田(範)、正田(緑)さん、南波さん、富樫さん、宮川さん、斉藤(友)さん、高橋(努)さん、橋本さん、川村さん、松本さん、前さん、吉田の13名が集結し、2台の乗用車に分乗して雨の中を出発した。栃木支部との集合場所の足尾町銀山平に向かう。予定通り10時には銀山平に到着したが栃木支部の小島さん、森さん、坂口さん、石沢さん、上田さんたちは既に到着し待っていてくれた。雨がかなり降っていたので駐車場の国民宿舎かじか荘の中で打ち合わせをした。簡単な相互の自己紹介の後今日の予定を話し合った。栃木支部の坂口さんは大正15年生まれの86才が参加している。後々そのタフさぶりに驚かされる。

栃木支部の提案で庚申山往復6時間30分は雨で厳しいので移動に時間はかかるが日光の高山に登ることにした。高山は標高1,668m、龍頭の滝上駐車場は標高1,360mで標高差300mを2時間少々で往復できる。12時少し前だったので駐車場の車の中で雨を避け昼食をとる。

龍頭の滝上駐車場から湯川の橋を渡ると高山登山口の標識がある。12時10分、雨の中の登山が始まる。シカ除けの柵の戸を押して開け中に入る。鹿の習性を考え引いては開けられないようになっていているとのこと。緩やかな道にはコバイケイソウが群生している。ダケカンバやカラマツの間を抜けジグザグの急登をして尾根に出る。途中のクマザサはかなり広範囲にシカに芽を食べられ枯れかかっている。尾根上にはミズナラの枝を広げた大木がある。広い尾根伝いを人が余り入らないのか落ち葉のジュウタンの上を歩くように尾根が続く。所々に丸太の階段があるがそれほど急ではない尾根道の上下りを行く。トウゴクミツバツジやアズマシャクナゲが姿を現し始める。「高山—龍頭の滝」の大きな標識がある。ここまで約40分、落ち葉の中にはギンリョウソウが顔を出している。標高が上がってきてトウゴクミツバツジやシロヤシオ(五葉ツツジともいわれ愛子さまの身の回りの持ち物に「お印」として用いられている)が満開になっている。トウゴクミツバツジの紅紫色と純白のシロヤシオの対比が美しい。アズマシャクナゲはややピークを過ぎ雨に濡れ花びらを垂れている。コメツガの新芽もかわいらしい。



やがてジグザグ登りの後大きく巻いて1,668mの広い頂上に着いた。13時45分、1時間35分の歩行時間であった。

頂上には満開の枝ぶりの良いトウゴクミツバツツジがある。三等三角点があるが、その他に御料地三角点というのがある。かつてこの付近が御料地であった名残であるという。小休の後山頂を後にする。快調に下り尾根道から分かるところで小休止、尾根から下り駐車場に近づく頃になると葉を叩く雨音が強くなりだす。橋の上から見る龍頭の滝の水量も増えやや濁っていた。15時20分全員無事に駐車場に帰着した。歩行距離4.8km、休息を入れた歩行時間3時間10分。このまま宿に直行しても早いので栃木支部のご厚意で公害運動の先駆的場所の足尾銅山あとを見学し宿に入った。宿では埼玉支部と栃木支部のメンバーで懇親会を開催し、自己紹介に花が咲き、大いに盛り上がりました。

第二日(6月10日 日曜日)

今朝は曇ってはいるがところどころ青空も見えた。7時30分には宿を出、狭いが舗装されている林道を30分ほど行き、標高1,200mの折場登山口に着く。駐車場はもう既に中型バス3台を含め10台位の乗用車で埋まっていた。熊出没注意の大きな看板が出ている。

8時15分出発、弓の手コースは丸太の階段のいきなりの急登から始まった。尾根に出ると勾配は緩やかになる。シロヤシオやトウゴクミツバツツジが散見し出す。やがて左側が急斜面で木の一本もない広々としたササ原となる。ササ原の中にマイズルソウが可憐に咲いている。左手の展望は素晴らしいらしいが雲で見えない。明るいダケカンバの林の中を抜け満開のトウゴクミツバツツジの群生地を通る。シロヤシオやオレンジ色のヤマツツジもある。カラマツ林を過ぎると木のやぐらの展望台に出る。雲で何も見えないので先に行くついでに賽の河原に着いた。9時35分、1時間20分の歩行。賽の河原のような場所はこの先数か所あり広い尾根を登る。コースが何本もある。小丸山(1,676m)には登らずまき道を行く、小丸山でいままで北上していた道は90度方向を変え西に向かう。途中で雨が降り出し雨具をつける。胸ほどあるササ原を抜けると鉄製カマボコ型の小さな避難小屋に出る。ダケカンバに囲まれた広々とした所だ。この先緩い登りで少し深いササ原の中から細いダケカンバがたくさん伸びている。森林帯に入りかなりの急坂となる。滑りやすい個所にロープが張ってある。やがて勾配が緩やかになると、1,878mの前袈裟丸山の山頂が見えてきた。12時5分山頂到着、山頂には一等三角点がある。3時間50分の歩行、ルートグループとしてはまあまあペースだった。後袈裟丸山へ行く北斜面にはアズマシャクナゲ咲いている。多少蕾も残し、いまが一番見ごろの時期だ。後袈裟丸山へ行く北斜面にはアズマシャクナゲ咲いている。多少蕾も残し、いまが一番見ごろの時期だ。

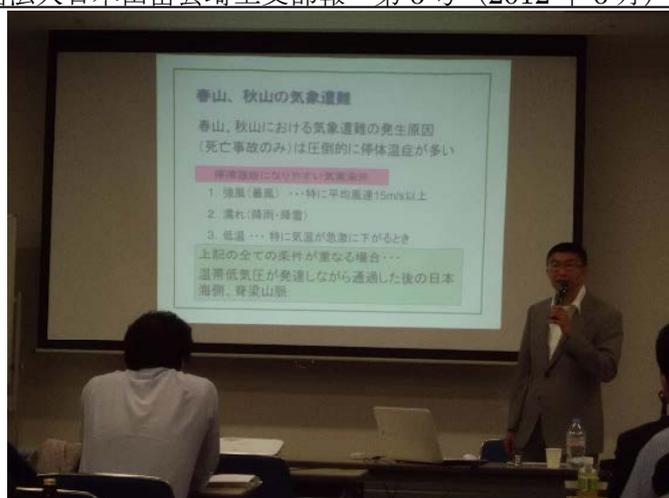


雨を避けコマツガの木の下で立ったまま昼食を取る。後袈裟丸山へは通行禁止の看板が出ている。しばし休息の後、下りにかかる。下りはどろんこと葉っぱを落とした滑るササとの戦いでパンツも靴も泥まみれになってしまった。往きに巻いた小丸山に登る。雲がしばし切れ小丸山からは昨日登る予定だった庚申山と鋸山の山並みが見えた。アカヤシオが枝先に数輪のこっている。下りでは右側が急斜面になる木の一本もない広々としたササ原では雲が取れ遠くの山並みと赤城山も見えた。下の谷には滝も見える。賽の河原を通りオレンジ、紅紫色、白の花のトンネルを抜け駐車場に戻った。15時50分着。歩行距離10.2km、休息も入れ総歩行時間7時間35分。雨に降られたとはいえ素晴らしい花めぐりの2日間の山行だった。栃木支部の皆様に感謝！！



第6回安全登山講演会「山岳気象」 —気象遭難を回避するために—

- 日時:平成24年6月12日(火)19:00~21:00
- 場所:浦和コミュニティセンター9階第15集会室
- 講師:猪熊隆之氏(気象予報士、㈱ヤマテン代表取締役社長、日本山岳会会員)
「山と渓谷」、「岳人」への山岳気象講座の連載、国内や海外登山隊、山小屋などに気象情報の配信を行っている。また、全国山岳遭難対策協議会、日本山岳協会、東京都山岳連盟、日本山岳ガイド協会などから講師依頼も多い。



●内容:

講演会には埼玉支部会員及び県内外の山岳会・一般登山者を含め68名の登山愛好者が集まった。

Part I「山岳気象の基礎」では雲が発生する原因や風向・大気の安定度、山岳気象の特徴に関する説明を受けた。

Part II「気象遭難事例から学ぶ」では春・秋山の気象遭難は低体温症が原因であること、気象遭難に警戒が必要な気圧配置として低気圧の場所や等圧線の縦縞模様の間隔に注意する必要があるとの解説があった。一方、2009年トムラウシ遭難、2002年十勝岳遭難、2002年大雪山系遭難、鳴沢岳遭難、今年5月の白馬岳遭難の事例をその時の天気図を基に解説された。

Part III「夏山の気象遭難」では雷の発生原因・気圧配置や落雷による遭難事例、雷を避ける方法として観天望気的重要性や空気のじっとり感などに注意することなどが指摘された。

遭難事例はその時の天気図に基づき風向や降雨・降雪との解説が行われ、参加者には理解しやすい講演内容であった。講演終了後に行なったアンケートからも、自分の足りなかった知識を補うことができたと評価が高く、資料が分りやすく、役立つ講演であったとのコメントが多数を占めた。



(安全登山委員会 松本敏夫)

平成24年度総会開催

- 日時:平成24年4月7日(土)13:30~14:50
- 場所:埼玉会館(浦和)3階 3C 会議室
- 内容
開会の辞(大久保副支部長)
支部長挨拶
定足数報告及び議長選出
公益社団法人への移行について(富樫事務局長)
議事

- 1号議案 平成23年度事業報告(案)及び収支決算(案)承認の件
- 2号議案 公益社団法人日本山岳会埼玉支部規約(案)承認の件
- 3号議案 同会友規定(案)承認の件^(*)
- 4号議案 同役員(案)承認の件
- 5号議案 平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件

閉会の辞

- (*)この2つの議案は公益社団法人への移行に伴う変更、及び会友制度の盛り込みに伴う追加。
- (*)総会の結果、いずれの議案も承認された。
- (*)支部役員については、「平成24年度支部役員体制」を参照方。
- (*)事業計画については、「平成24年度年間行事計画」を参照方。

●その他

引き続き、埼玉会館2階レストランで懇親会が開催(15:00~16:40)され、大山会員へのエベレスト登山壮行や、新人会員紹介、各委員会・同好会のメンバー紹介などが実施され、和気藹藹のうちに終了した。

平成24年度年間行事計画

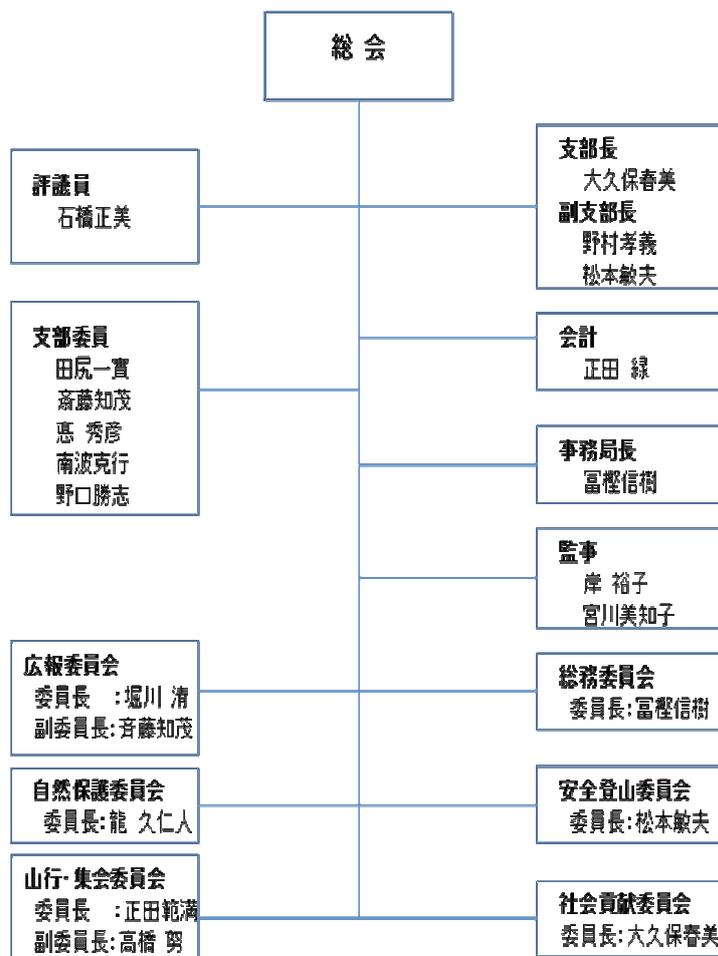
月	行事内容
4	7日:総会 8日:障がい者登山(鐘撞堂山) 14-15日:雲取山3支部合同登山 末日:ホームページを本部サーバ上に移行
5	6日:50山 破風山
6	9-10日:四季の山 袈裟丸山(栃木支部合同) 12日:第6回安全登山講演会「山岳気象」 24日:森づくり(森林サポータークラブとの連携) 日付未定:支部報第6号発行
7	7日:50山 熊倉山 6-16日:インドネシア・スマトラ島クリンチ山
8	11-13日:四季の山 北アルプス剣岳
9	上旬:50山 秩父槍ヶ岳 下旬:森づくり(森林サポータークラブとの連携)
10	日付未定:第7回安全登山講演会(読図) 13-14日:四季の山 会津 日付未定:50山 和名倉山 24日-11月中旬:東チベット遠征

	日付未定:支部報第7号発行
11	日付未定:自然観察会 大高取山 日付未定(2日間):50山 雁坂嶺・笠取山
12	日付未定:50山 天覧山(忘年山行・講演会) 下旬:森づくり(森林サポータークラブとの連携)
1	日付未定:新年懇談会 日付未定:50山 雷電山 26日:第8回安全登山講演会(山岳遭難) 日付未定:自然保護シンポジウム
2	日付未定:第2回安全登山講習会(救急法) 日付未定:50山 陣見山 日付未定:四季の山 北八ヶ岳 日付未定:支部報第8号発行
3	日付未定:50山 武川岳

(*)行事の名称は変更になる場合があります。また、その他の行事が随時開催される場合があります。

(*)行事実施に当たっては、ホームページや支部報送付時等でお知らせします。

平成24年度支部役員体制



(*)埼玉支部の規約により、支部委員会はここに挙げた役員で構成されます。

50山ラリー実施状況

●2012.4.14-15 No.7 雲取山、No.13 霧藻ヶ峰
→「雲取山合同登山報告」を参照下さい。

●2012.5.6 No.32 破風山(626.5m)

秩父鉄道皆野駅→皆野橋→郷平橋→野巻林道入口→ユズ園→破風山(三角点がある)→札立峠→水潜寺(秩父札所第34番)→満願の湯→(バス)→皆野駅

立寄り湯;満願の湯(バス停名「秩父温泉」)

(注)当初は札立峠→如金様→大前山→上沢辺バス停というコースを行く予定であったが雷雨に遭って水潜寺に下った。また、希望者は、皆野駅前の鰻屋「吉見屋」で白焼きを肴に打ち上げをおこなった。



破風山頂上(撮影:三角会員)



水潜寺

●「埼玉支部会員のための50山」のこれまでの実施状況と今年度の予定

No	山名	標高	支部山行実施状況/予定
1	三宝山	2483.3m	
2	甲武信ヶ岳	2475m	
3	木賊山	2468.6m	
4	雁坂嶺	2289.2m	2012.11 予定
5	飛竜山	2069.1m	
6	白石山 (和名倉山)	2036.0m	2012.10 予定
7	雲取山	2017.1m	2012.4.14-15(三支部合同)

8	笠取山	1953m	2012.11 予定
9	三国山	1834m	
10	両神山	1723.0m	2011.4.9 総会記念山行
11	天目山	1718.3m	
12	大平山	1603.0m	
13	霧藻ヶ峰	1523.1m	2012.4.14-15(三支部合同)
14	蕎麦粒山	1472.9m	
15	秩父槍ヶ岳	1430m	2012.9 予定
16	熊倉山	1426.5m	2012.7.7 予定
17	矢岳	1357.9m	
18	武甲山	1295.4m	2010.11.13「50 山山行」
19	有間山	1213.5m	
20	二子山	1165.8m	
21	御岳山	1080.4m	2011.10.1「50 山山行」
22	武川岳	1052m	2013.3 予定
23	城峰山	1037.7m	2011.8.6「50 山山行」
24	棒ノ折山	969m	2011.7.2「50 山山行」
25	丸山	960.3m	2010.4.11 設立記念山行
26	堂平山	875.8m	2011.12.10 忘年山行
27	伊豆ヶ岳	850.9m	2011.11.5「50 山山行」
28	笠山	837m	2012.3.3「50 山山行」
29	四阿屋山	771.6m	2011.3.5「50 山山行」
30	大霧山	766.6m	2011.12.11「50 山山行」
31	登谷山	668m	2011.9.11「50 山山行」
32	破風山	626.5m	2012.5.6「50 山山行」
33	簗山	586.9m	2011.5.7「50 山山行」
34	越上山	566.5m	2012.2.4「50 山山行」
35	陣見山	531.0m	2013.2 予定
36	宝登山	497.1m	2011.2.5「50 山山行」
37	大築山	466m	
38	雷電山	418.2m	2013.1 予定
39	物見山	375.4m	2011.1.8「50 山山行」 2011.4.17 ふれあい登山
40	鐘撞堂山	329.9m	2012.1.3「50 山山行」 2012.4.8 ふれあい登山
41	日和田山	305.0m	2011.1.8「50 山山行」 2011.4.17 ふれあい登山
42	金勝山	263.9m	2010.12.11 忘年山行
43	天覧山	197m	2012.12 忘年山行予定
44	物見山	135.0m	
45	二ノ宮山	131.7m	
46	荒幡富士	119.1m	
47	大久保山	112m	
48	観音山	77.4m	2011.6.4「50 山山行」
49	丸墓山	35.7m	2011.6.4「50 山山行」
50	浅間山	約 20m	2011.1.15 支部懇談会

(注1)今年度分については、一部変更があり得ます。実施に当たっては、ホームページや支部報送付時等でお知らせします。なお、宿泊や交通手段の予約が必要な場合には、事前申し込み制となります。また、募集に当たって、体力レベルや技術レベルの目安をお知らせするものもごさいます。

(注2)今後も日帰りの山行を継続して行くために、50山に限らず実施して行く予定です。支部会員の皆様からの要望をお待ちしております。

●50山ラリーの参加者を集計したものを支部報とともに送付します。間違いを申し出て頂ければ幸いです。

埼玉支部ホームページのご紹介

⑤埼玉支部のページが表示されます。

この5月からホームページを日本山岳会本部のサーバに移行しました。この機会に、アクセス方法などを紹介させていただきます。

1. 埼玉支部ホームページのアドレス

5月から新アドレスは次のとおりです。

<http://www.jac.or.jp/info/shibudavori/saitama/index.html>

2. 埼玉支部ホームページへの行き方

(1) 上記新アドレスを入力して直接行く

・ブラウザに上記アドレスを直接指定します。

(2) 日本山岳会のホームページから行く

① 本部のホームページアドレス

<http://www.jac.or.jp/>

をブラウザで指定するか、Googleなどの検索エンジンで「日本山岳会」をキーワードとして入力してホームページを検索してクリックします。

② 本部ホームページの先頭ページが表示されるので、「日本山岳会の活動案内」をクリックして表示されるドロップダウンメニューから「支部」を選択します。



③ 支部の一覧が表示されるので、関東エリアの「埼玉 支部」をクリックします。

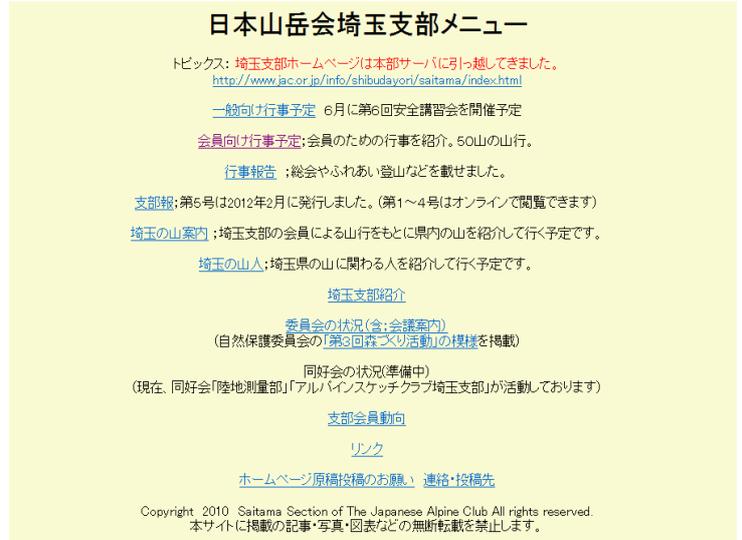


④ 埼玉支部の案内ページが表示されるので、「埼玉支部運営サイト」をクリックします。



- ・(1)のアドレスを直接指定する方法の場合には、このページが表示されます。ここで表示されるページまたは⑤で表示されるページを「お気に入り」として登録するとよいと思います。
- ・このページでは、次の指定ができます。
 - － 「埼玉支部の先頭ページに行く」メニューページ(トップページ)に行きます。次の⑤の画面となります。
 - － 「日本山岳会の先頭ページに行く」(2)②で示したページに行きます。
 - － 「会員専用入口」このアイコンをクリックすると埼玉支部会員のページに行きます。なお、このページの運用方針が決定後に、パスワードを会員・会友にお知らせします。

⑤ 埼玉支部トップページが表示されます。



3. 埼玉支部ホームページのコンテンツ案内

(1) 行事関連

- ・一般行事案内 ; 一般も対象とする講演会・講習会を掲載しています。
- ・会員向け行事案内 ; 会員向け山行(50山、四季の山)や森づくり等を掲載しています。
- ・行事報告 ; 講演会・講習会・山行などの実施報告を掲載しています。

(2) 支部報バックナンバー

- ・支部報 ; 支部報のバックナンバーを閲覧できます。

(3) 埼玉の山案内

更に詳細なメニューが表示されます。

埼玉の山案内

[埼玉支部会員のための50山](#) ; 県内の様々な標高の山を集めました。(2011-07-22 一覧メニューから選択する方式に変更)

[「新日本山岳誌」上の埼玉県の山](#) ; 日本山岳会が100周年時に選んだ山です。

[山頂からの展望](#) ; 山頂での楽しみは展望です。

[山麓からの展望](#) ; 日々、家の近所から山々を眺める幸せを紹介します。

[埼玉の川](#) ; 上流の山を思いながら、県内の川(荒川、入間川、江戸川、利根川)などを歩くのも楽しいものです。

[埼玉県内のハイキング大会・ウォーキング大会](#) ; 自分の脚力を試すためにロングコースに挑戦しよう。

[埼玉県内の山の状況](#) ; 登山道の状況について載せています。

[思い出の資料](#) ; 一昔前の登山の思い出です。

[隣の山\(6丘辺の支部の山案内へのリンク\)](#)

- ・ [多摩の山々](#) ; 東京多摩支部のページです。
- ・ [千葉山行日記](#) ; 千葉支部が公開しているページです。

お役立ちサイト

- ・ [東武線ハイキング情報](#) ; ハイキング地図のダウンロード可
- ・ [西武線ハイキング情報](#) ; ハイキング地図のダウンロード可
- ・ [秩父鉄道ハイキング情報](#)
- ・ [JR東日本駅からハイキング](#)
- ・ [埼玉県の巨樹](#)

[トップページに戻る](#)

50山に関する情報

- 一山の地図をリンク。
- 一50山ラリーが実施された山は、その時の写真などを掲載。
- 日本山岳会100周年記念の「新日本山岳誌」に載っている埼玉県山の山情報
- 埼玉の川に関する情報(川沿いの散策に関する参考情報)
- 埼玉県内で実施されているハイキング大会・ウォーキング大会に関する情報

(4) 埼玉の山人

- 埼玉に関わりがある人(例えば本多静六博士)の情報を掲載しています。

(5) 埼玉支部に関する情報

- 埼玉支部紹介 ; 支部組織や規約などを掲載しています。
- 委員会状況 ; 支部委員会の状況を中心に掲載しています。
他に、自然保護委員会のシンポジウムや森づくりの状況を掲載しています。

(6) その他

- 支部会員動向 ; 今後充実させたいと思っています。
- 同好会状況 ; 今後、同好会が提供するコンテンツを掲載して行きたいと思っています。
- 関連リンク ; 支部として関連する団体のホームページや支部会員に関連するホームページをリンクさせたいと思っています。

(7) 携帯用行事案内

<http://www.jac.or.jp/info/shibudayori/saitama/keitai/Kmenu.html>
携帯でアクセスするのに便利のようにコンパクトにした内容です。
行事当日に場所や時刻を確認するのに重宝します。

コンテンツが貧弱な部分もありますが、今後の埼玉支部の山行/行事の実施や、支部会員の皆様からの情報に基づいてコンテンツを充実させて行きたいと思っています。よろしくお願ひ致します。

(広報委員会 堀川)

10月開催の全国支部懇談会参加について

10月に千葉で全国支部懇談会が開催されます。埼玉でも近いうちに全国支部懇談会を開催することになると思いますので、雰囲気味わっておくためにも、埼玉から一人でも多くの参加をお願い致します。

- 期日:10月20日(土)~21日(日)
- 会場:国民宿舎サンライズ九十九里
- 日程
 - ・1日目 12:00 から受付、14:30 から講演会、郷土芸能、18:00 から懇親会
 - ・2日目 ①九十九里浜散策コース(10km)
②笠森観音コース(5km)
- 費用:17,000円(宿泊、懇親会、ハイキング)
- 交通:東京駅からバスが利用できます。
- 締切:7月31日
- 申込:参加コース名、交通手段(東京駅からバスの場合には増便するので、往復/行きのみ/帰りのみの区別も)を明示の上、本部会報「山」5月号の19頁をご覧になって各個人で千葉支部全国支部懇談会事務局の豊倉さと子様へお申込み下さい。(事務局)

《予告》 JAC 埼玉・陸地測量部主催の講演会 「あの時、私は！」

埼玉支部員の中には過去素晴らしい活躍をされている方が大勢いらっしゃいます。その方に後輩のために経験談を語っていただきます。今秋から連続シリーズで実施予定。

- 場所 : 浦和コミュニティーセンター(JR浦和駅東口)
- 時間 : 午後6時半から8時半まで
- 詳細 : 後日ホームページで発表します

【乞う御期待】

大山光一会員エベレスト登頂

埼玉支部会員の大山光一氏(会員番号 7453)は、4月8日の総会出席後、「2012年 エベレスト登山隊」(埼玉支部後援;詳細は支部報第5号を参照方)の隊長として4月13日にネパールに出発し、5月25日午前5時半頃に無事2度目のエベレスト(8,848m)登頂に成功した。強風などの影響で約1週間標高約6,200mのテントに待機しての登頂だったという。前回は2007年に中国側から登っている。

大山会員ご苦労様でした。埼玉支部一同、心から登頂を祝福致します。(事務局)

(右写真)読売新聞2012.06.02朝刊の埼玉版記事より



埼玉支部の委員会状況

各委員会からの情報です。支部委員会での情報をもとに、支部報前号発行以降の状況を広報委員会にて編集したものです。

●総務委員会

- ・総会開催 ; 平成24年4月7日(土)13:30～
(於;埼玉会館、懇親会も実施)
- ・公益法人化に伴う支部規約の変更(含:支部友規定)
- ・公益法人化に伴う会計制度に対応

●広報委員会

- ・5月からホームページを日本山岳会本部のサーバマシンに移行した。
- ・これに伴い、メーリングリストの運用も変更した。
- ・支部報第6号編集

●山行・集会委員会

[50山山行]・[一般山行]

- ・三支部合同の雲取山を4月に実施した。
- ・2012年度の山行予定を決定。
→平成24年度年間行事計画を参照方。

[海外山行]

- ・7月、インドネシア・スマトラ島の山を予定
- ・10月下旬～11月上旬、3周年記念として、東チベット未踏峰の踏査を予定(偵察隊とトレッキング隊を予定)
→2/29、4/19、5/24に勉強会実施。
今後、富士山で高所順応などを実施予定。

●自然保護委員会

- ・2012年度の予定を決定。
→平成24年度年間行事計画を参照方。

●安全登山委員会

- ・講演会、講習会の予定を決定
→平成24年度年間行事計画を参照方。

●社会貢献委員会

- ・ふれあい登山(障がい者登山)を4/8に実施。

埼玉支部の同好会状況

●陸地測量部

現在の部員数は藤野部長以下9名であり、原則毎月第1木曜日に浦和駅前で定例会を開催している。平成22年9月の部発足以来の活動と今後の計画は次のとおり。

(1)活動報告

①塚山調査

- ・第1回塚山調査山行 平成23年3月5日(土)
参加者6名、太田部からのルート確認
- ・第2回塚山調査山行 平成24年3月24日(土)
参加者5名、土坂峠からの尾根ルート確認
- ・第3回塚山調査山行 平成24年3月29日(木)
参加者6名、太田部からの南ルート確認・太田部在住新井利幸氏訪問
- ・その他部員各自による調査山行(含:事前調査)

②三角点確認

- ・三ヶ尻観音山 一等三角点補点

③自然保護委員会との合同山行

- ・和名倉山麓自然観察 平成23年4月13日(水)
- ・大高取山自然観察 平成23年11月26日(土)

(2)平成24年度計画

①塚山調査報告作成

②地スベリ調査

③埼玉支部先輩諸氏からお話を聴く会

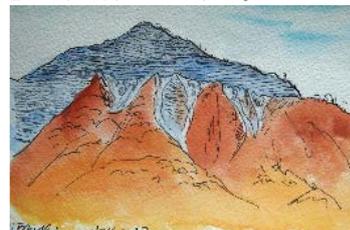
- ・秋以降にお招きして後輩へ指導の一環として経験談を語って戴く。お話の内容は陸地測量部としてまとめて行きたい。

●アルパインスケッチクラブ埼玉支部

現在11名の会員がスケッチクラブライフを楽しんでいる。発足1年目の昨年度は3回のスケッチを実施。

・第1回スケッチ

11月27日(日)晩秋の武甲山と両神山を描く山行で6名が参加。秩父市の羊山公園からの武甲山のスケッチと小鹿野町の林道を駆け上がり真近から両神山のスケッチ。



・第2回スケッチ

12月25日(日)に浅間山と妙義山が重なって見えるポイントでのスケッチに4人が参加。関越高速道路富岡IC付近の公園から赤城おろしの吹き下ろす寒風の中でのスケッチは大変で、すぐ移動をして妙義山の博物館のガラス張りの展望室からスケッチ。



・第3回スケッチ

3月11日(日)に「四季の山」袈裟丸山の偵察を兼ねて庚申山・袈裟丸山の林道に入ったが、あいにくの曇天で山は見え、林道も降雪による雪道で途中で引き返し偵察もできず、足尾銅山跡を見学。霧雨の中赤城神社の境内で杉木立の神社をスケッチ。

埼玉支部の会員異動(2012年6月18日現在)

入会: 加藤 満 15073

退会: 領家英子 14109

埼玉支部の会友異動(2012年6月18日現在)

入会: 山口定男 K0001、 小林康則 K0002、
古川史典 K0003、 神森登代子 K0004、
大友寿郎 K0005

編集後記

4月から公益社団法人となりました。支部報も公益社団法人としての品格が出せるとよいのですが、これまでと変わらない内容になってしまいました。これからは、大久保支部長のもと、力まず淡々として、多方面での活動の状況をこれまで通りに、インターネットと紙面に、お届けできればよいのかなと思います。(堀川)

公益社団法人日本山岳会 埼玉支部報 第6号
2012年(平成24年)6月 日発行
公益社団法人日本山岳会埼玉支部
発行者: 大久保春美 編集者: 堀川清
事務局: 〒365-0053 鴻巣市緑町5-16 富樫方
HP: <http://www.jac.or.jp/info/shibudayori/saitama/index.html>
Eメール: stminfo@jac.or.jp